

クラス	111	担当教員	あだち ひろし 足立 浩
	テーマ	ソシオ-マネジメントについて考える	
	著書・論文 研究課題等	『高齢社会の医療・福祉経営』（共著、桜井書店、2005年） 『総合重機』（共著、大月書店、2000年） 『アメリカ管理原価会計史』（単著、晃洋書房、1996年） 「医療法人 伯鳳会グループの経営戦略とマネジメント・システム」 （『日本福祉大学経済論集』第36号、2008年） 「CSRの矛盾構造」（『日本福祉大学経済論集』第33号、2006年）	

## ゼミナール概要

キーワード：企業不祥事、CSR(企業の社会的責任)、営利と非営利、マネジメント・システム、矛盾

### 目的、内容、方法等：

ソシオ-マネジメントとは、CSR(Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任)を意識した経営、あるいはそれをシステムとして組み込んだマネジメントの意味で、社会貢献型の企業経営のあり方として理解されるものです。それは、福祉経営学部の前身であった経済学部経営開発学科の基本コンセプトの1つで、福祉経営学部の基本コンセプトの1つでもあります。

近年、食品や「環境配慮」製品の偽装表示、欠陥製品の販売、粉飾決算や官公庁への報告データの改ざん、さまざまな法令違反など企業の不祥事が続発する一方で、「CSR推進」をテーマとしたいわゆる『CSR本』がよく売れたり、「CSR経営戦略」などとして企業の経営戦略に積極的に位置づけたり・・・といった、一見矛盾する現象が見られます。実は、それは近年に限らず、かなり以前から繰り返されているものでもあります。

ここでは、個別企業の利益追求(いわば企業の私的人格の側面)と、社会的に必要な製品・サービスの提供(いわば企業の社会的性格の側面)との対立ないし矛盾が反映しているとみられますが、その矛盾自体はどの企業・事業体にも見られるものといえます。資本主義という現在の経済システムにおいては、営利企業だけでなく非営利事業においても存続・発展のための利益確保が必要とされますから、医療や福祉に関わる非営利事業においてもこの問題は無縁ではありません。その意味で、卒業後の皆さんの仕事にも関わる可能性のある問題です。

当ゼミでは、こうした問題の現状がどうなっているのか、ここではどのような原因・理由・動機でどのような事態・問題が生じているのか、何をどのようにすれば問題の発生を防ぐことができるのか、CSRを真剣に推進することにはどのような負担(コスト)とメリット(利益)がともなうのか、・・・などの問題について、ニュース、新聞記事やさまざまな文献・資料をもとに実態を把握し、その原因・理由・問題点等を分析し、企業や事業体とその本来の社会的使命を達成するためには何が必要か、などを明らかにすることを追求します。

**授業計画：**ゼミ生には、まずゼミとしての基本文献の読み込みをしっかりとやったうえで、自分がどのような問題・事例について考えてみたいか、どのような問題・事例を取り上げたいかを自分で考え、決めてもらいます。それが一応決まれば、その問題・事例に関わるデータ、資料、文献等をさまざまな方法で収集し、読み込んで、分類・整理し、問題発生の原因・理由、その問題がもたらした企業・事業体内外への影響、問題を解決し再発させないための仕組み・対策のあり方、よりよい方向への展望などについて分析・解明してもらいます。それらの進行に応じて、その内容を体系的にまとめ、論文化していくことになります。ゼミでは、各自が自分のテーマとその調査・研究の進捗状況について随時報告し、次の段階の調査・研究の課題を明確にします。指導教員は、その過程で全員共通に、また必要に応じて個々のゼミ生に必要な指導・助言や資料提供等を行います。

使用テキスト	担当教員からのメッセージ
	大切なことは、まずゼミとしての基本文献をしっかりと読み、そのうえでとにかく自分の研究テーマをもつことです。ついで、その理解を深めるためにさらにさまざまな文献・資料等を読みこなし、解明したい問題について指導教員の助言を得ながらも基本的には自分で主体的に資料・データ等を収集・分析して、自分の力で問題の全体像を把握することです。自分自身のために、能力アップに専念できる学生生活をフルに利用して下さい。そのうえで、コンパ等々の遊びも大いに！